会社説明資料

株式会社アルプス技研

2014年12月期

－　東京証券取引所市場第一部　証券コード：4641　－

人が未来–Next Technology Frontier®

Alps 株式会社アルプス技研

■説明のポイント

【2014年度実績】

増収増益、過去最高の配当(見込)

【2015年度業績予想】

創業以来最高業績、配当を予想

【中期目標】

営業利益率10％超、単価4千円超

■業績ハイライト　増収・増益

アウトソーシングサービス事業が業績を牽引

（単位：百万円）

【連結】	2013年12月期	2014年12月期	増減率
売上高	18,097	**20,169**	11.5%
営業利益	1,070	**1,626**	51.9%
経常利益	1,089	**1,617**	48.4%
当期純利益	651	**1,260**	93.3%

（単位：百万円）

【個別】	2013年12月期	2014年12月期	増減率
売上高	15,476	**17,503**	13.1%
営業利益	1,105	**1,576**	42.6%
経常利益	1,188	**1,647**	38.7%
当期純利益	707	**1,034**	46.2%

■連結売上高・純利益の推移

■外部環境　製造業の動向

消費増税の影響	輸出動向	自動車業界動向
持ち直し傾向	改善見通し	生産台数増加

自動車中心に好調

■外部環境　業界の動向

顧客の派遣要請	人材獲得競争	派遣法改正
強い要請 高稼働率	引き続き 激しい	中小事業者は規制強化

人材確保が課題

■2014年度 主要施策①

新卒採用の増加(技術者)

技術者数の増加(前年同期比)

稼働率の向上(全体)

稼働率の向上(新卒除く)

■2014年度 主要施策②

営業力強化

質を高める

契約単価の向上

積極的なローテーション

新卒早期戦力化

チーム化の推進

規模を拡大する

優良取引先拡大

新規成長分野開拓

営業案件の増加

グループ連携営業

■連結業績

営業利益率8.1%
（前年比＋２．２％）

（単位：百万円）

	2013年 12月期	2014年 12月期	増減率
売上高	18,097	**20,169**	11.5%
売上原価	13,539	**15,075**	11.3%
売上総利益	4,557	**5,093**	11.8%
販管費	3,486	**3,467**	-0.5%
○販管費率	19.3%	17.2%	-2.1%
営業利益	1,070	**1,626**	51.9%
○営業利益率	5.9%	8.1%	2.2%
営業外収益	116	**118**	1.2%
営業外費用	97	**126**	29.8%
経常利益	1,089	**1,617**	48.4%
特別利益	0	**268**	75290.3%
特別損失	17	**10**	-38.2%
税引前当期純利益	1,072	**1,875**	74.8%
当期純利益	651	**1,260**	93.3%
○当期純利益率	3.6%	6.2%	2.6%

利益率向上要因

■営業利益率

①稼働率上昇
②単価上昇
③技術者数増
④販管費率の改善

■当期純利益率

固定資産売却益等も寄与

■主要指標の推移

技術社員数 ※2014年12月末時点

稼働人数 ※2014年12月末時点

稼働工数 ※2014年度平均

契約単価 ※2014年12月末時点

■稼働率・稼働人数・技術者推移

新卒入社は年々増えるも、高稼働率が続く

※①「稼働人数」…四半期毎の稼働人数（人） ②「技術者数」…四半期毎の技術者総数（人） ③「稼働率」…月当たりの新卒を含む全社稼働率（％）

■業種別売上高（2014年度）

・自動車関連の要請は引続き好調
・環境・医療関連の新規開拓進む

■売上上位10社

特定企業に依存しない顧客構成

2012年度通期	2013年度通期	2014年度通期
デンソーテクノ	デンソーテクノ	デンソーテクノ
キヤノン	キヤノン	キヤノン
日産自動車	東芝	東芝
東芝	日産自動車	日立オートモティブシステムズ
パナソニック	日立オートモティブシステムズ	日野自動車
東京エレクトロン宮城	日野自動車	三菱電機
ケーヒン	パナソニック	日産自動車
日立オートモティブシステムズ	ケーヒン	アイシン精機
三菱重工業	三菱重工業	日立アプライアンス
トヨタ自動車	アイシン精機	三菱重工業
上位10社比率　27.7%	上位10社比率　26.4%	上位10社比率　25.0%

■2015年度の主要施策（個別）

技術者数を増やす

新卒280名採用
2016年入社予定

キャリア140名採用
2015年入社

退職防止策継続
帰属意識の向上

営業力を高める

チーム化推進

単価UP

優良顧客開拓

■2015年度 グループ施策

国内事業	海外事業
高稼働率の維持 アルプスビジネスサービス	**安定収益構造へ** 台湾・上海
成約率の向上 アルプスキャリアデザイニング	**東南アジア開拓** ミヤンマー
↓	↓
総合人材アウトソーシング企業グループへ	さらなる成長エンジン獲得へ

■連結業績予想　増収・増益

創業以来最高業績の達成へ

（単位：百万円）

【連結】	実績		業績予想			
	2014年度通期		2015年度上期		2015年度通期	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	20,169	11.5%	10,500	8.4%	22,600	12.1%
営業利益	1,626	51.9%	830	21.2%	1,870	15.0%
経常利益	1,617	48.4%	860	28.2%	1,920	18.7%
当期純利益	1,260	93.3%	560	32.7%	1,320	4.8%

■個別業績予想　増収・増益

営業施策が着実に成果を上げる

（単位：百万円）

【個別】	実績		業績予想			
	2014年度通期		2015年度上期		2015年度通期	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	17,503	13.1%	9,250	10.9%	20,050	14.6%
営業利益	1,576	42.6%	750	12.1%	1,680	6.6%
経常利益	1,647	38.7%	780	11.3%	1,730	5.0%
当期純利益	1,034	46.2%	510	21.7%	1,210	17.0%

■配当予想（2015年度年間配当金）

【配当の基本方針】

- 連結ベースでの配当性向50％を基本とする
- 中間配当金は年間配当金の50％を目途とする
- 業績にかかわらず年間配当20円を維持する（安定配当の見地）

■中期目標（個別）2015～2017年

①営業利益率　１０％以上を達成
②平均実単価（※1）　４千円以上を達成

	2014年度	中期目標
売上高原価率	73.3%	75.0%
売上高販管費率	17.7%	15.0%
売上高営業利益率	9.0%	10.0%

原価率UP※2
単価UP
→ 処遇向上 → 定着率向上
採用力向上
＋間接部門の効率化
収益拡大

※1：残業含む実際の単価
※2：高稼働率を前提とした原価率UP